



…産直住宅！…

国産材の需要拡大策や流通コストの低減化を狙いとして、全国各地で産地直送住宅が誕生しています。現在、全国の33都道府県で99団体が設立され、それぞれ特徴を出して競争をしております。鹿児島県でもここ数年、そういう動きが活発になり落語家の三遊亭歌之介師匠の自宅も埼玉県に鹿児島材で鹿児島県出身の大工さんが造りました。また、鹿児島県が後援して神戸と東京にモデルハウスも造っております。昨年、鹿児島県産直住宅協議会も設立され、今年の正月には帰省客に「鹿児島県産材で家を造りましょう」と鹿児島空港でPRもしております。

ところで、産直住宅とはどういうものでしょうか？

3つのタイプに分類されるようです。

- ①産地型 : 材料だけでなく大工など施工者も産地から供給し建設する。
- ②消費地型 : 都市部で「違いがわかる」本物指向の消費者のために、設計事務所や工務店が結びついて団体を組織する。(施主が山へ行ったりする)
- ③分離型 : ①と②との中間型形態で産地と消費地が地域性に応じ、部材の供給や設計施工の役割分担を行う。

(鹿児島など大都市から遠く営業力の小さいところの産直住宅)

さて、この産直住宅の価格はいくらぐらいでしょうか？

ある調査では、49万円未満 20%、60万円未満 45%、79万円未満 10%、79万円以上 25%とかなりの高額で違いを売り物にしており、今はやりの低価格志向とは一線を画しているようです。

大手ハウスメーカーが地方へ手を伸ばす一方、地方の中小企業が力を合わせて大都市へ展開していくという中で、今年はいよいよ産地間競争も激化してくると予想されています。特徴のある家造りのための情報などを集め、皆様にお知らせしたいと考えております。何でもお問い合わせ下さい。

[情報] 鹿児島県木造住宅推進協議会よりお借りしておりますCAD・HICシステムが更新されました。A0の用紙までカラーで作図できます。各パースなども簡単に表現でき、施主様に住宅のイメージを具体的にご理解いただけます。施主様との打ち合わせにご利用下さい。

《定休日》 2月は、1、7、8、11、15、21、22日です。(7日が追加になりました)
3月は、1、7、8、15、21、22、29日です。
ご協力お願いします。

(お問い合わせは、お客様サービス係の森園まで)